

第Ⅲ部 ねぶた・ねぷたと学校教育との 関わり調査～調査研究 1 (学校調査)～

第1章 2市(青森市・弘前市)の小・中学校での ねぶた・ねぷたと学校教育との関わり調査(2006年度)

第1節 調査の目的と対象・回収率

「ねぶた・ねぷた」祭りの中心地である、青森市・弘前市の公立小・中学校における「ねぶた・ねぷた」を取り入れた教育実践が、現在どのように行われているのかを調査するため、2006年1月に、青森市・弘前市の全小中学校を対象とし、「ねぶた・ねぷた製作の実践」「祭りへの参加・練習の実践」「祭りに関する講話の実践」等、それぞれについての学校アンケート調査を行い集計した。本報告はデータの報告と最後に総合的考察を行う。

回収率 表 1

	学校数	回答数	回答率
青森市小学校	54	48	88.89
青森市中学校	23	20	86.96
弘前市小学校	38	34	89.47
弘前市中学校	18	18	100.00
合計	133	120	90.22
青森市両校	77	68	88.31
弘前市両校	56	52	92.86
両市小学校	92	82	89.13
両市中学校	41	38	92.68

青森市、弘前市全小・中学校にお願いした調査票の回収率は表1のようである。回収率は、両市の合計で90.22%であった。

第2節 各質問項目の回答集計

(1) ねぶた・ねぷたへの学校での取り組みの有無

質問：「貴校では、学校の教育活動の一環として、①ねぶた・ねぷた本体、金魚ねぶた・ねぷたや灯ろうねぶた・ねぷた等の製作・制作、②学校独自、または、夏の合同運行・地域ねぶた・ねぷた祭りへの参加・運行、運行のための笛等の練習などを、教科、総合的な学習の時間、特別活動、行事、PTA子ども会活動などで取り上げていますか。」

- ア 本年度、ねぶた・ねぷたの本体等の製作・制作をとりあげている。
- イ 本年度、学校独自、又はそれ以外の祭りへの、参加・運行・参加のための練習を取り上げている。
- ウ 本年度、特に取り上げていない。
- エ 過去2年間に、ねぶた・ねぷたの本体等の製作・制作をとりあげていた。
- オ 過去2年間に、学校独自、又はそれ以外の祭りへの、参加・運行・参加のための練習を取り上げていた。

表 2

* 複数回答あり

	ア、本年度の 製作・制作		イ、本年度の 参加・練習		ウ、本年度の 活動無し		エ、過去2年 間製作・制作		オ、過去2年 間参加・運行	
	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	8	16.7	23	47.9	21	43.8	2	4.2	0	0
青森市中学校	3	15.0	2	10.0	15	75.0	1	5.0	0	0
弘前市小学校	9	26.5	8	23.5	22	64.7	2	5.9	0	0
弘前市中学校	6	33.3	6	33.3	9	50.0	0	0	0	0
合計	26	23.9	39	35.8	67	61.5	5	4.6	0	0
青森市両校	11	16.2	25	36.8	36	52.9	3	4.4	0	0
弘前市両校	15	28.8	14	26.9	31	59.6	2	3.8	0	0
両市小学校	17	20.7	31	37.8	43	52.4	4	4.9	0	0
両市中学校	9	23.7	8	21.1	24	63.2	1	2.6	0	0

(2) 質問1でア(本年度の製作・制作有)又はエ(過去2年間で製作・制作有)と回答した学校への質問

(2) - 1 取り上げている領域について

質問:「取り上げている領域は、次のどれですか。また、実施学年はいつですか。」

表 3

* 複数回答あり

	教科		総合的な学 習の時間		特別活動		行事		P T A 子 ども会活動		その他	
	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	1	10.0	4	40.0	0	0	1	10.0	6	60.0	0	0
青森市中学校	0	0	2	50.0	0	0	2	50.0	0	0	0	0
弘前市小学校	3	27.3	6	54.5	1	9.1	2	18.2	2	18.2	1	9.1
弘前市中学校	3	50.0	3	50.0	2	33.3	4	66.7	0	0	0	0
合計	7	22.6	15	48.4	3	9.7	9	29.0	8	25.8	1	3.2
青森市両校	1	7.1	6	42.9	0	0	3	21.4	6	42.9	0	0
弘前市両校	6	35.3	9	52.9	3	17.6	6	35.3	2	11.8	1	5.9
両市小学校	4	19.0	10	47.6	1	4.8	3	14.3	8	38.1	1	4.8
両市中学校	3	30.0	5	50.0	2	20.0	6	60.0	0	0	0	0

*教科は 小学校: 図工-2校、生活-1校、不明-1校 中学校: 美術-3校

*「総合的学習」の実施学年 小学校: 3~6年-4校、5~6年-7校

中学校: 1~3年-2校、2年-1校、2~3年-1校、不明-1校

*全学年で行事を実施している 小学校: 1校、中学校: 3校

(2) - 2 製作・制作したものについて

質問:「製作・制作したものは、次のどれですか」

ア 金魚ねぶた・ねぶたの、紙はり、墨書き、ロウ書き、色付けのみ。

イ 金魚ねぶた・ねぶたの、骨組みから全ての製作・制作。

ウ 灯ろうの、紙はり、墨書き、ロウ書き、色付けのみ。

エ 灯ろうの、骨組みから全ての製作・制作。

オ 学校独自の前・本体ねぶた・ねぶた等の製作・制作。

カ 地域・合同運行の前・本体ねぶた・ねぶた等の製作・制作。

キ その他

表 4

*複数回答あり

	金魚ねぶた・ねぶたの色付けまで		金魚ねぶた・ねぶたの製作・制作		灯ろうねぶた・色付けまで		灯ろうねぶた・ねぶたの製作・制作		学校独自の本体の製作		合同運行などの、本体の製作		その他	
	校	%	校	%	校	%	校	%	校	%	校	%	校	%
青森市小学校	1	10.0	6	60.0	1	10.0	0	0	1	10.0	2	20.0	0	0.0
青森市中学校	1	25.0	0	0	0	0	0	0	2	50.0	0	0	1	25.0
弘前市小学校	2	18.2	1	9.1	7	63.6	0	0	4	36.4	0	0	1	9.1
弘前市中学校	1	16.7	0	0	3	50.0	1	16.7	4	66.7	0	0	0	0.0
合計	5	16.1	7	22.6	11	35.5	1	3.2	11	35.5	2	6.5	2	6.5
青森市両校	2	14.3	6	42.9	1	7.1	0	0	3	21.4	2	14.3	1	7.1
弘前市両校	3	17.6	1	5.9	10	58.8	1	5.9	8	47.1	0	0	1	5.9
両市小学校	3	14.3	7	33.3	8	38.1	0	0	5	23.8	2	9.5	1	4.8
両市中学校	2	20.0	0	0	3	30.0	1	10.0	6	60.0	0	0	1	10.0

(3) 質問1でイ（本年度の参加・運行有）又はオ（過去2年間に参加・運行有）と回答した学校への質問

(3) - 1 参加・運行している祭りの種類について

質問：「参加・運行しているねぶた・ねぶた祭りは、次のどれですか」

表 5

*複数回答あり

	ア、学校独自		イ、地域の祭り		ウ、夏の合同運行祭り		エ、その他	
	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	5	21.7	12	52.2	11	47.8	0	0
青森市中学校	0	0.0	1	50.0	1	50.0	0	0
弘前市小学校	2	25.0	4	50.0	4	50.0	0	0
弘前市中学校	3	50.0	2	33.3	0	0.0	0	0
合計	10	25.6	19	48.7	16	41.0	0	0
青森市両校	5	20.0	13	52.0	12	48.0	0	0
弘前市両校	5	35.7	6	42.9	4	28.6	0	0
両市小学校	7	22.6	16	51.6	15	48.4	0	0
両市中学校	3	37.5	3	37.5	1	12.5	0	0

(3) - 2 参加・運行を取り上げている領域について

質問：「参加・運行を取り上げている領域は、次のどれですか。また、実施学年はいつですか。」

表 6

*複数回答あり

	教科		総合的な学習の時間		特別活動		行事		PTA子ども会活動		その他	
	校	%	校	%	校	%	校	%	校	%	校	%
青森市小学校	0	0	1	4.3	0	0	3	13.0	19	82.6	3	13.0
青森市中学校	0	0	2	100.0	0	0	0	0	0	0.0	1	50.0
弘前市小学校	0	0	2	25.0	0	0	2	25.0	4	50.0	2	25.0
弘前市中学校	0	0	0	0.0	0	0	3	50.0	1	16.7	1	16.7
合計	0	0	5	12.8	0	0	8	20.5	24	61.5	7	17.9
青森市両校	0	0	2	12.0	0	0	3	12.0	19	76.0	4	16.0
弘前市両校	0	0	2	14.3	0	0	5	35.7	5	35.7	3	21.4
両市小学校	0	0	3	9.7	0	0	5	16.1	23	74.2	5	16.1
両市中学校	0	0	2	25.0	0	0	3	37.5	1	12.5	2	25.0

*「総合的な学習」の実施学年 小学校：3～6年－2校、5～6年－1校、不明－1校
中学校：1～3年－1校、2年－1校

*PTA子ども会活動は全学で実施しているところが、小学校で17校

*行事は全学で実施しているところが、小学校で4校、中学校で1校

(3) - 3 運行のための練習を学校として行っているかの有無

質問：「運行のための笛、太鼓等の練習を取り上げていますか」

表 7

	ア、取り上げている		イ、取り上げていない		ウ、その他	
	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	13	56.5	6	26.1	3	13.0
青森市中学校	2	100.0	0	0.0	0	0.0
弘前市小学校	4	50.0	4	50.0	0	0.0
弘前市中学校	1	16.7	4	66.7	0	0.0
合計	20	51.3	14	35.9	3	7.7
青森市両校	15	60.0	6	24.0	3	12.0
弘前市両校	5	35.7	8	57.1	0	0.0
両市小学校	17	54.8	10	32.3	3	9.7
両市中学校	3	37.5	4	50.0	0	0.0

*未記入校
2校

(3) - 4 運行のための練習を取り上げている領域について

質問：「ア（取り上げている）と回答した学校は、練習を取り上げている領域は次のどれですか。

表 8

* 複数回答あり

	教科		総合的な学 習の時間		特別活動		行事		P T A 子 ども会活動		その他	
	校	%	校	%	校	%	校	%	校	%	校	%
青森市小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	12	92.3	1	7.7
青森市中学校	0	0	1	50.0	0	0	0	0	0	0	0	0
弘前市小学校	0	0	1	25.0	0	0	0	0	2	50.0	1	25.0
弘前市中学校	1	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	5.0	2	10.0	0	0	0	0	14	70.0	2	10.0
青森市両校	0	0	1	6.7	0	0	0	0	12	80.0	1	6.7
弘前市両校	1	20.0	1	20.0	0	0	0	0	2	40.0	1	20.0
両市小学校	0	0	1	5.9	0	0	0	0	14	82.4	2	11.8
両市中学校	1	33.3	1	33.3	0	0	0	0	0	0	0	0

*教科は、中学校：音楽－1校

* P T A 子ども会活動では、小学校で全学年の子ども対象にして練習している

(4) 質問1でウ（本年度特に取り上げていない）と回答した学校への質問

質問：「特に取りあげていない学校にお聞きします。次年度以降、取り上げる予定がありますか」

表 9

	特に予定していない		予定がある	
	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	20	95.2	1	4.8
青森市中学校	15	100.0	0	0.0
弘前市小学校	21	95.5	1	4.5
弘前市中学校	8	88.9	1	11.1
合計	64	95.5	3	4.5
青森市両校	35	97.2	1	2.8
弘前市両校	29	93.5	2	6.5
両市小学校	41	95.3	2	4.7
両市中学校	23	95.8	1	4.2

* 予定のある学校は、

(5) ねぶた・ねぶたについての学習や講和について

(5) - 1 ねぶた・ねぶたについての学習や講和の実施の有無

質問：「ねぶたについての学習や講話についてお聞きします。ねぶたについての歴史学習やねぶた関係者の講話等を行っていますか」

表 10

	ア、行っている		イ、行っていない	
	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	8	16.7	39	81.3
青森市中学校	1	5.0	19	95.0
弘前市小学校	2	5.9	32	94.1
弘前市中学校	3	16.7	15	83.3
合計	14	12.8	105	96.3
青森市両校	9	13.2	58	85.3
弘前市両校	5	9.6	47	90.4
両市小学校	10	12.2	71	86.6
両市中学校	4	10.5	34	89.5

(5) - 2 講和等を行っている学校での、実施内容について

質問：「行っている学校での、実施内容は何ですか」 *複数回答あり

- ア ねぶた・ねぶたの歴史や伝統文化の伝承について
- イ ねぶた・ねぶたの形や絵について
- ウ その他

表 11

*複数回答あり

	ア、歴史・伝統文化の継承		イ、形や絵		ウ、その他	
	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	7	87.5	4	50.0	2	25.0
青森市中学校	0	0.0	0	0.0	1	100.0
弘前市小学校	2	100.0	2	100.0	0	0.0
弘前市中学校	0	0.0	3	100.0	0	0.0
合計	9	64.3	9	64.3	3	21.4
青森市両校	7	77.8	4	44.4	3	33.3
弘前市両校	2	40.0	5	100.0	0	0.0
両市小学校	9	90.0	6	60.0	2	20.0
両市中学校	0	0.0	3	75.0	1	25.0

*その他は、小学校で、お囃子の講話と体験－1校、ねぶた師の人生講話－1校
中学校で、絵付けの講話と絵付け

(5) - 3 講和等を行っている学校での、指導者について

質問：「行っている学校での、指導者は誰ですか。」

- ア 教師のみ
- イ 学校外のねぶた・ねぶた関係者が中心
- ウ 教師と学校外のねぶた・ねぶた関係者
- エ その他

表 12

	ア、教師のみ		イ、学校外の関係者		ウ、教師と学校外の関係者		オ、その他	
	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)	(校)	(%)
青森市小学校	2	25.0	3	37.5	3	37.5	0	0
青森市中学校	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0
弘前市小学校	0	0.0	2	100.0	0	0.0	0	0
弘前市中学校	0	0.0	2	66.7	1	33.3	0	0
合計	2	14.3	8	57.1	4	28.6	0	0
青森市両校	2	22.2	4	44.4	3	33.3	0	0
弘前市両校	0	0.0	4	80.0	1	20.0	0	0
両市小学校	2	20.0	5	50.0	3	30.0	0	0
両市中学校	0	0.0	3	75.0	1	25.0	0	0

(5) - 4 講和等を行っている学校での実施領域について

質問：「行っている学校での実施領域は、次のどれですか。また、実施学年はいつですか。」

表 13

*複数回答あり

	教科		総合的な学習の時間		特別活動		行事		PTA子ども会活動		その他	
	校	(%)	校	(%)	校	(%)	校	(%)	校	(%)	校	(%)
青森市小学校	0	0.0	5	62.5	1	12.5	1	12.5	1	12.5	0	0
青森市中学校	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0
弘前市小学校	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0
弘前市中学校	1	33.3	2	66.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0
合計	1	7.1	9	64.3	1	7.1	1	7.1	2	14.3	0	0
青森市両校	0	0.0	6	66.7	1	11.1	1	11.1	1	11.1	0	0
弘前市両校	1	20.0	3	60.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	0	0
両市小学校	0	0.0	6	60.0	1	10.0	1	10.0	2	20.0	0	0
両市中学校	1	25.0	3	75.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0

第3節 ねぶた・ねぶた実施状況の総合的考察

以上の調査結果から、以下のことがわかった。

第1に、「製作・制作」について、両市共に、小学校段階では、地域や保護者が中心となり、「製作・制作」に関する実践を行い、「製作・制作内容」も、比較的、高度な技術を必要としない、基礎・基本的な作業を中心として、「ねぶた・ねぶた」に触れることに重点を置いた活動が実施されていると考えられる。また、中学校段階では、「総合的な学習の時間」や「行事」（小学校にはない文化祭等）を利用し、生徒を中心とした実践の中で、高度な技術や、多くの知識を必要とする、「学校独自のねぶた製作」を実施

していると思われ、小学校段階・中学校段階での、子どもの発達段階に即した実践が、行われていると推測できる。しかし、弘前市の実施小学校のうち、「学校独自のねぶた製作」を行っている学校が 36.4% 確認されており、小学校段階における大型「ねぶた・ねふた」製作実施も可能であることがわかった。

第 2 に、「参加・練習」について、両市とも活動実施小学校の実施領域の中心が「PTA 子ども会活動」となっている。地域や保護者の取り組みが、児童の活動に大きな影響を与えていると考えられ、児童のねぶたに対する、興味・関心を養うためにも、地域の教育力を利用していくべきだと考える。中学校段階では地域差が見られ、「総合的な学習の時間」を中心に実施している傾向が見られる青森市に対して、弘前市は「行事」で実施されている傾向が高く、弘前市では「文化祭」で活動を実施している傾向が読み取れた。

第 3 に、講話について、両市共に、実施されている学校では外部講師の協力を得て実施していることがわかった。しかし、本調査で確認できた講話実施校が僅かであったため、推測の域を超えることはない。

最後に総論として、学校での「ねぶた・ねふたに関する実践」を行うためには（特に小学校段階）、地域や保護者の、熱心な協力が無ければ、実現することは困難であるということがわかった。本調査では、それぞれの実践に、多くの学校外関係者や、保護者の方々の協力を得ながら、各学校が、実践を行っている現状が明らかになった。元来、地域の祭りとして、発展してきた「ねぶた・ねふた」祭りであるから、当然のことにように思われるが、学校教育として「ねぶた・ねふた」を位置づけるためには、地域の教育力を、多くの場面で活用し、子ども達との関わりを豊かにすることが、必要不可欠であると、再確認できる結果となった。

（文責：井上怜央）